

発行所 社会通信社 発行人 滝野 忠

ホームページ <http://shakaitsushin.cool.coocan.jp/> e-mail: shakaitsushin@nifty.com

東京都渋谷区本町六丁目二八―二―九〇四 電話・FAX(03)3299―5367

郵便振替 〇〇―一〇〇―九―五八四三一 労金 中央労金本店 No.1154163

くもくご

■巻頭言■

そごう・西武労組ストライキ

金平 博：2

たたかいへの支持の声広がる

汚染(処理)水の海洋放出は即時中止せよ！ 原野人：3

―海洋放出を永久に中止して、第二原発の敷地の活用を―

牧田正樹・新潟県議選挙上越市選挙区で初当選 ……4

老朽原発うごかすな！ 橋田 秀美 ……6

関電前 「一食断食」行動

古典に学ぶ 蓑輪 泰臣 ……7

―向坂逸郎著「マルクスと現代」の学習で学ぶもの―

◇資料 『朝日新聞 デジタル』◇ ……10

根 室 本 線 最 後 の 夏

読者からのおたより ……13

旬刊 社会通信

NO.1385

二〇二三年十一月一日号

二〇二三年十一月一日発行

そごう・西武労組ストライキ
たたかいへの支持の声が広がる

8月31日、百貨店そごう・西武の労働組合は組合員の雇用維持を求めて西武池袋本店でストライキを決行し、全館が臨時休業になりました。親会社のセブン&アイ・ホールディングスが、百貨店そごう・西武を米国の投資ファンドに売却することに抗議し、組合員の雇用を守るためでした。

組合は売却されれば組合員の雇用が維持されないおそれがあるため、この日まで経営側と交渉を重ねてきましたが、合意できずストライキに至ったものです。大手百貨店でのストライキは1962年の阪神百貨店以来61年ぶりのことです。

この日は西武池袋本店前に多くの組合員が集まり、「西武池袋本店を守ろう」「池袋の地に百貨店を残そう」などとチラシを配ったり、デモ行進で訴えました。普段は競合する三越伊勢丹労組・阪急阪神労組などの百貨店労組の幹部も参加しました。

特に阪急阪神労組の委員長は「同じ働く仲間であり、そごう・西武労組を絶対に孤立させない」と力強い連帯の気持ちを表明していました。市民からはストライキを支持する声が多数寄せられました。通りがかった人たちから拍手や声援が届き、「労働者への説明が足りない中でのストライキなので応援したい」といった声が聞かれました。しかし、問題は何も解決していません。ストライキの翌日（9月1日）、百貨店そごう・西武の米国投資ファンドへの売却は決定されました。労働組合は今後、経営側に雇用維持を求めていくでしょうが、難しい交渉が続くことは避けられません。

それにしても、今回のストライキは社会に大きな問題を投げかけたと思います。ストライキ行動が大きく取り上げられ、支援の声も多く、労働組合のストライキが当たり前のこととして取り上げられました。労働組合が積極的に闘い、多くの労働者がその闘いに連帯する社会なら希望が持てます。

『あかし地域ユニオン』（2023年9月号）No.287号 金平博

※そごう・西武労組ストライキ解説

百貨店が繁栄を誇ったのは1990年代までです。1993年の小売業界の売上高はスーパー11・7兆円、コンビニ4兆円、百貨店9兆円でした。2022年にはスーパー、コンビニは13・2兆、11・17兆、百貨店は4・9兆円と半減です。古い商業資本の独占体の百貨店は、新しい元気のいい2つの独占体に負けたのです。

百貨店は生き延びるために合併します。スーパー、コンビニの持株会社は百貨店を買収し、子会社化します。ストライキ当事者のそごう・西武は2001年に業務提携し、03年に合併します。ひだり前はおさまりません。2006年セブンが買収、子会社化します。しかし、セブンにお荷物になりました。

そごう・西武の処遇どうする、売却しないとイオンはアメリカの投資会社に売却します。イオンが持株会社、そごう・西武はイオンの子会社、アメリカの投機会社、そしてそごう・西武の労資の攻防として今回のストライキです。

汚染（処理）水の海洋放出は即時中止せよ！

― 海洋放出を永久に中止して、第二原発の敷地の活用を―

東電と政府は福島第一原発で発生した汚染（処理）水の海洋放出を開始した。規制値より薄めて放出するから安全だとしているが、何倍に薄めようが絶対量が減るわけではなく、トリチウムが水産物にはいり、人々に大きな影響を及ぼしかねない。

さらに無視できないことは、放射性ストロンチウムやセシウム等々は多核種除去設備（ALPS）で処理されているとはいっても、排出水の量が多いだけに、放出される多核種放射能の絶対量も多くなる。これらの海洋への拡散と水産物への蓄積は、長年にわたる人間への影響が懸念される。「汚染水」と呼んだ農水大臣は間違っていない。漁業者や水産物を好む日本人はもとより、韓国や中国など近隣諸国民が心配するのも当然である。

最善の解決策は、海洋放出はやめて、第二原発の敷地にタンクの新設か、セメント固化によって貯蔵させることである。ここには広大な敷地が遊んでいる。内径2インチの1本の配管敷設で送水すれば済むことである。第二原発の敷地を生かすことで、水産業者も日本国民も近隣諸国民も安心安全が得られる。

なお今日たまっている134万トンについては、第二原発に移す必要はない。そのまま第一に貯蔵しながら、新たに発生する汚染（処理）水は第二の敷地に貯蔵を開始すればよいだけのことである。海洋放出は全く必要ない。

東電のような独占資本は、労働者や漁民の命や健康の上に、利潤を置いている。今日の自民党政権は独占資本を頂点とする資本家階級のための政権であり、労働者や農漁民を支配して独占資本の利益を図る国家の機関である。

岸田首相は海洋放出について、IAEA（国際原子力エネルギー機関）のお墨付きを得たとして、中国などの諸国民をのり、国内の反対勢力をあしざまに言うが、IAEAは原発を推進するための国際機関であって、諸国民の安全を推進する機関ではない。

東電や自民党政権は、第二原発の敷地をこのまま遊ばせておきたい。第一で発生している汚染水の貯蔵タンクなどに使いたくはない。なぜならここに新規原発の建設をはかりたいのである。さらにいったんは「廃炉」とした第二の4機の原発をあわよくば復活・再稼働させたいのである。

汚染水の発生を完全になくするためには、破壊された原子炉建屋に雨水を漏らさない屋根を設置するとともに、凍土法などといういい加減な方法に代えて、格納容器の周りを鋼板で囲んでしまうことが必要である。

今からでも遅くはない。海洋放出は即刻止めて、第二原発への配管敷設と、タンク建設あるいはセメント固化を開始するべきである。（原野人）

牧田正樹・新潟県議選挙上越市選挙区で初当選

新潟県議会議員選挙上越市選挙区（5人区）で新社会党県本部副委員長・牧田正樹さんが1万2186票・2位で当選した。

上越市

上越市は新潟市から南に130kmに位置する。平成の合併で13町村が上越市に編入し、面積は県内2位、973・8キロ平方メートル（1位は山間部の多い県北の村上市）、人口は3位の18万7000人、合併から17年で2万人も減少している。合併13区は特に過疎化が進み、財政をはじめ問題が多様化している。

牧田さん立候補の背景

牧田さんは7年前の上越市議選で新人ながら上越市政初の4777票でトップ当選し、2期目も2位当選（1位は元市長）した。旧上越市は社会党時代に市議が7・8人いたが、現在社会党の流れを継いでいるのは牧田さん1人である。

改選前の上越市県議（定数5人）は、自民党3人と小山芳元（社民党県連代表）、秋山美枝子（旧民主党系）であった。

2022年3月上旬に社民党県連合代表の小山芳元県議より牧田正樹、出身労組本部・支部、社民党上越支部協、新社会党県本部と支部の出席の下に、正式に「後継者として牧田正樹さんに立候補してほしい」と要請がされた。同時に「県連代表の後継者が新社会党籍では困るので、党を離れてほしい」とも要請された。新社会党は「それは出来ない。無所属で闘うつもりである。それが無理であれば、そちらから出してください」と発言、党籍はそのまま、無所属で戦うことを全組織が合意した。

社民党も後継者候補擁立が厳しいなど党の高齢化も進んでいる。新社会党も県議候補を抱えたこともなく、かつ数少ない党員が県北部中心である。それぞれの組織が県議選を闘って・勝利するには厳しい実態があった。

選挙の取り組み

県本部は、全党員会議で牧田正樹県議選を2022年の最重点運動とし、臨時カンパを決定した。

基本選挙方針は①流した汗の量に応じて票が出る。②握手をしたところしか票が出（浮動票はない）ない。かつ中間的な県議選では街頭演説にも力を入れる。③最大の運動員は本人と連れ合い。連れ合いさんの勤め先に8月から週4日間の休みを入れてもらう。④組織力（馬力）のない分、早くから走り出す。⑤県本部は月1回、全運動員で牧田地元にローラーでチラシの手渡で支持者を広げる。

3月に小山県議から牧田市議名簿と同規模の支持者名簿を出してもらい、6月上旬には支持者名簿の書式整理と統合、支持者カード、地図落とし、名刺、牧田ニュースと挨拶まわりの準備を完了した。

牧田さんは6月から地元1700世帯に牧田ニュースと参院選をセットでローラー挨拶を始めた。この地域は市議選挙で県本部が牧田ニュースをローラー手渡しで支持者を広げてきた。

市議選時の「牧田地元」をさらに7000世帯に広げ、県本部は9月から月1回の全県員で牧田ニュースをローラーで手渡しながら「地元の牧田」をお願いした。

地方都市ではまだ戸別訪問が可能で、反応の良い家をカード化できる。準備と処理に手間がかかり、訪問するのに気力も必要だが、新しい票の上積みと一定の役割を果たした。

牧田夫婦は地元終了後に名簿先に1日100軒、1・5回まわることを目標に動いた。

支部は牧田挨拶の地図とカード並べ、党員の地図づくり、11月から県本部号でテプ街宣を行い、年明けからは社民党・労組会議も参加した。支部は3回の選挙で一番動いた。

また、出身労組支部も土日の牧田夫婦の挨拶の運転手を担った。

今回の勝利は牧田夫婦が精力的に頑張りと、名簿先への挨拶まわりをきちんと行ったこと、新社会党の牧田ニュースの手渡ししが新しい票の上積みとムード作りになった。各組織も持ち場で頑張ったことである。さらに、初めて地域後援会が2地区で結成され、党員も1名拡大できた。

4年後に向けて

4年後は今以上に新社会党を含めて運動力が落ちる(歳で)。牧田さんも県議会と遠方になり、連れ合いさんの勤務先が今回のような勤務体制をとってくれるか分からず、運動の後退が避けられない。

懸案の地元事務局体制の「弱さ」は、一番選挙の分かる牧田さんがやりながら、次の担い手を育てていく以外ない。

市議と違い地元中心だけでは票が足りないが、今まで以上に地域の活動を一緒にやり、地元選対の力が発揮できるようにする。

議会報告紙の発行と年2回は『牧田まさきの県政報告と意見交換会』の参加型の報告・語る会を開催していく。

選挙戦と同じように今から早めに準備して、小さな運動でも時間をかけて、4年後に向けて体制づくりをしていく。

新社会党の2022年参議院選挙と統一自治体議員選挙

新社会党は2022年参議院選挙方針で「2022年参議院選挙、2023年統一自治体選を一体の闘い」と位置付けてきた。そして、28回臨時大会で「10数年ぶりの選挙でこんなに動いたことはない」「党が活性化したという報告は全国的に共通する」とした。

統一自治体議員選挙は当選することだけが全てでない。しかし、党として立候補するからには、当選することが最大の目的である。岡崎委員長の所属する兵庫県本部は

神戸市議会で新人を当選させられなかっただけでなく、現職2名のうち1名を落としている。芦屋市は後継者が届かなかった（三鷹市も）。岡崎彩子選対責任者の山崎秀一副委員長の地元で定数34名の高知市議選で前回の新人を再び当選させられなかった。

新社会党参議院選挙総括で「相対として運動が前進した」としているが、参議院選挙の責任者の2県本部で当てはまるだろうか。党組織全体としても前進したと言いはない。

さらに、2021年4月の第26回大会で4年間の激しい議論と3割近いの強い反対があるにもかかわらず、4号・5号「一人ひとり」は給付を受ける権利において平等であること」を「強行採決」した。決定してから、初めての統一自治体議員選挙であった。全ての立候補者の政策を見ることはできなかったが、4号・5号を積極的に推進した県本部の候補者でさえ、政策に「一人ひとり」は平等である（BI）を謳っている候補者を見出すことはできなかった。

これでは何のために強行採決したのか分からない。激しい議論と強行採決で残ったのは不信感と対立の深まりである。

運動が厳しく、困難な中で、皆がなかなか展望を見いだせない中でも頑張っている。「路線転換的ともいえる変更」は慎重であるべきである。こういう時にこそ中央指導部の指導性と柔軟性が問われている。

（新潟・K）

老朽原発うごかすな！

とめよう！ 原発依存社会への暴走

関電前 「一食断食」行動

9月1日は、関電本店前に、朝10時から午後4時まで、のべ2000人の人が参加され、昼食を抜いて座り込み、少しひもじい思いをして、原発の理不尽さを共有しました。この「一食断食」行動に、大阪の吹田、新潟の柏崎刈羽、名古屋などの、反原発を闘うみなさんが、連帯行動を実施してくださいました。

突入集会、昼休集会、集約集会と各30分の、3回のミニ集会では、木原壮林さんの主催者挨拶、福井からは、この「一食断食」を提唱された中嶋哲演さんのアピール他、各方面から、いろいろな方のアピールをいただきました。

前日の、そごう・西武のストライキ決行に、感激するひととたくさんおられ、労組からの挨拶も、闘いへの希望と決意を感じるものでした。

集会と集会の間には、参加者が次々アピールしたり、原発に関する質疑応答、歌を歌ったり、詩を読んだり、途切れることなく6時間を思いを一つにして過ごしました。その間、関電に向けて、6回の怒りのシュプレヒコールを投げつけました。

ネットを見て駆けつけたという若者も、アピールしました。「一食抜いて、座り込んでいるあなた達は、ヒーローだ。」と、なんとも気恥ずかしくなるような言葉をくれました。

質疑応答では、やはり今一番の関心事、放射能汚染水の海洋投棄に関するに集中しました。質問には、木原壯林さんや敦賀の山本雅彦さんが、的確に答えてくださり、参加者全員が生徒となって、よい学びの場となりました。

暑さが心配でしたが、民医連から見守り隊も来ていただき、おかげさまで一人も倒れる人も出ず、無事に6時間の「一食断食」行動を終えました。金曜なので、関電社員にも声が届いたでしょうか。

次は、高浜原発2号機の再稼働が画策されている9月15日の現地行動です。10月2日には関電本店前にて、「使用済み核燃料の行き場はないぞ！ 全国集会」を実施します。次々と行動を重ね、12月3日には、大阪の地で「とめよう！ 原発依存社会への暴走1万人集会」へと繋げたいと思います。みなさんのご参加を呼びかけます。
〔橋田 秀美(老朽原発うごかすな！ 実行委員会)〕

古典に学ぶ

― 向坂逸郎著「マルクスと現代」の学習で学ぶもの ―

東京の端に位置する八王子、少人数で「反独占・社会主義」を目指す新社会党組織を維持している。我々党員の士気を支えているのは、ほかでもない「古典学習会」、マルクス・レーニン主義、向坂逸郎の理論を長期にわたり学び続けていることに尽きる。

社会主義革命を党の基本方針に掲げる「新社会党」、今年も全国大会が開催された。私は前回の大会で「指導部が率先してマルクス・レーニン主義、向坂逸郎の理論を学ぶこと」の必要性を訴えてきた。何故か、「革命的理論なくして革命的行動はない」、1974年に書かれた向坂先生の色紙であるが、理論がぶれるとすべての判断がぶれ始める。そして、「うまい手」「都合のいい理論」を探し始める。これが「日和見主義」へと軌道修正していく。レーニン著の『カール・マルクス』（岩波文庫169〜181頁「マルクス主義と修正主義」）を一読されたい。

新社会党にそのことを感じざるを得ない。先の第29回新社会党大会で「社会主義への道」を党員に指し示せたのか、私にはそのことを感じるができない。現実対応に追われているようにしか感じられない。そこには、運動の展望は生まれてこない。

向坂先生の著書『マルクス主義と現代―科学的社会主義の根本的問題』（大和書房）を党学習で学んでいる。その本に「理論と実践」について書かれている。最も学ぶべきことが書かれているので、以下の私のレポートした内容を紹介していく。

理論 唯物弁証法

向坂先生は、「理論と実践」の中で、理論の必要性を強く求めている。その理論とは「唯物弁証法」である。この「唯物弁証法」については、「事実を歴史的発展の中で捉え、判断するということ」と述べている。

「唯物弁証法」と「資本論」の必要性では、「日常の経験をどう処理するかについて、マルクス主義の方法を教えているのは、この理論である。日常の複雑極まりない経験を、つねに階級闘争として理解し、これを正しい方向に処理することを可能にする」と述べている。

つねに、階級闘争として捉える。このことの意味は非常に重要だといえる。現在の労働組合もそうだが、この階級闘争の思想性が揺らいできてるように思えてならない。国鉄の分割民営化はまさに階級闘争であった。資本主義社会のなかで、体制維持と利潤追求の邪魔者は、国家権力を最大限に活用してつぶしていく。資本の鉄則が貫かれたものであった。

弁証法

向坂先生は、党・労働組合の幹部についてこう批判している。「単に経験のみを重んじて、一切の理論を否定する政党や労働組合の指導者たちが、事実の複雑多岐な場面に直面すると、為すことをしらない。躊躇逡巡するのは、事実を歴史的発展の中で捉え、判断するという唯物弁証法と「資本論」の理論を知らないことによるのである。」唯物弁証法の理論と国家独占資本主義の発展とともに、日本労働運動の中に停滞と右傾化とが現れ始めたとき、指導者たちは、労働運動の右傾化を恒久的な事実と見て、右翼日和見主義がのさばり始めた、と述べる。

これに対して、唯物弁証法の理論に立つ者は、「右傾化の底に、必ず運動の左翼化という逆流が存在し、成長する傾向を示している要素を指摘している。」と説いて、社会主義協会はこのことを追求してきた、と。この指摘が、唯物弁証法的であり、「資本論」の資本主義の基本的分析によるものである、とつづける。

そして、この逆流を育てることが、歴史の発展法則に添うものである。歴史の発展法則に添うものであるから、必ず実現する、と社会主義の必然なることを説く。

ソビエト社会主義国の崩壊、東ヨーロッパの社会主義国の崩壊により、マルクス・レーニン主義の科学的社会主義理論に自信を無くした「社会主義者」も多くいたこと、と同時に、斎藤幸平の「ユートピア論文」にすぎた人たちも出てきていることも事実である。新社会党員にもいるし、私の友である社民党の党員もそうであった。新しい社会主義理論を見つけたかのような大喜びをし己をなぐさめる悲しい現実である。

自然法則と社会法則

向坂先生は、歴史の事実をどう見るかを、わかりやすく説明している。先生は「自然の法則」をもとに、飛行機が空を飛ぶ、宇宙船が月まで行く。これは、人間が、宇宙の法則を認識し、自然の法則にしたがって、飛行機や宇宙船が飛ぶように設計し、実現している。その設計のどこかに、自然の法則をおり込むことに失敗していると、墜落したり失敗したりする。

「自然の法則は、人間が失敗しても成功しても存在する。」と書く。非常に重要な内容である。「社会の歴史の発展法則は、社会主義革命が失敗しても、成功しても存在する」、問題は、唯物論的歴史観（史的唯物論）の理論で、社会主義建設の失敗に

学び、より社会主義を探求し、より精密に認識し、社会主義運動を強化することである。

向坂先生は、このように述べる。「歴史においても同じように、一定の法則が働いている。マルクスは、この法則を発見したのである。史的唯物論、または唯物史観である。その社会の法則にしたがって、『資本論』を書いた」と。

また、「社会主義を成立させる必然の法則」については、資本主義社会の発展の法則である。資本主義社会の胎内にある敵対的矛盾の法則であると。

ここで有名なマルクスのヴァイデマイアーへの手紙を紹介する。

「ぼくが新たに考えたことは、1、階級の存在は生産の特殊な歴史的発展段階に結ばれているにすぎないこと、

2、階級闘争は必然的にプロレタリア階級の独裁へと導くこと、

3、この独裁はそれ自身はいっさいの階級の廃止への、階級のない社会への過渡をなすにすぎないことを証明したことである。」

あえて、この内容を紹介したのは、斎藤幸平の考えと対比してほしいからだ。斎藤はマルクスの理論を理解し、考え発展させるのではない、唯物史観の否定からマルクスを始めているのである。

私的 所有

向坂先生は、資本主義社会の歴史的発展について、資本主義社会を敵対的な矛盾の社会としているのは、生産手段の私有化が存在し、このことが労働搾取によって社会を存続させているからである。物質的生産なくして社会は存在せず、社会の一部の人間のみ、これを自由に処理し得て、他の社会の大部分は、これによって労働する外に生きる道を与えられていない。必然的に労働搾取が行われる。この外に、生産手段の所有者たちが生きる方法はない。剰余価値を独占し、これを生産手段の改善に用いて、労働者階級をより多く搾取する階級とこの剰余価値の分け前にあずかって、資本家階級の一翼となつて、これに奉仕する社会層とは、敵対的に相対する。この敵対的の抗争を通じて、歴史は発展していると説明する。

つづけて、この対立抗争は、歴史を発展させる基本的な条件となる。歴史の発展は、この条件によって規定されている。そういう流れ以外に今日の歴史は、より高い段階に発展することができない。文芸も思想も、階級闘争のいずれかの側にあつて闘う以外に、発展の方法をもたない。

変革の主体

最後に書かれていることは、わが党の党員、社会主義者に伝えておきたい向坂先生の言葉であるように思う。

【私は今日いく度目かに、史的唯物論のABCに言及する必要がある。それは、一つに、マルクシズムを装う一派が、自然と社会の真実は、階級闘争の外にある「学者」の手に握られているという真実に怠惰で臆病な人々の「理論」の声をきくからである。この一派の思想は、史的唯物論を忘れていたのである。またはこの派の中には

この理論を拒否している人々がいる。彼等にはマルクス主義的唯物論はない。したがって、労苦してマルクシズムを学ぶ誠実さが欠けている。

人間が人間を搾取し、奴隷にするにすぎない社会を保持することに、一生懸命な「人道主義者」が、今日の日本にも沢山いる。そしてこの学者たち、思想家たちは、資本主義の歴史的「偉大さ」を、却って知らないのである。

他方労働者の中にも階級および階級闘争の歴史的意味を、忘れがちな、あるいは初めから覚えようとしない右翼日和見主義が生まれている。われわれの雑誌「唯物史観」は、労働者階級の運動に密着して、この中に注入させる独占ブルジョアジーの思想攻撃を、はねのける使命をももっている。さらに、社会主義運動を阻害し、独占ブルジョアジーのために労働者階級を裏切る小市民的ラディカリズムの理論的破産をも明確に示さなければならぬ。マルクシズムを労働者階級から切断してはならない。】

向坂先生の言葉を改めて、自問自答する勇気をみんなが持つてもらえればありがたい。八王子の古典学習は、いつまでもマルクス・エンゲルス・レーニン・向坂逸郎の理論とともにある。

(蓑輪 泰臣)

◇資料◇ 『朝日新聞 デジタル』(抜粋)

根室本線最後の夏

10月1日号見ました。共働学舎に行ったのですね。海を汚すなどの資料おくります。どのテレビみても汚染水を処理水と大宣伝しています。大本営発表になつていくのでしょうか？ 帯広で私は「国・自治体による海洋放出反対全国行動に連帯する帯広地区集会」(帯広駅南広場、8月27日(日))さよなら原発！ 新得会他)に参加します。

左記『朝日新聞デジタル』(根室本線、最後の夏「北の国から」「鉄道員」のロケ地を巡る嶋田達也 2023年8月19日)の最後に私の主張が少し載っています。

資料とともに参考に。

(北海道新得町 佐野 周二)

廃線 富良野く新得 北海道の根室本線(根室線)は来春、富良野駅から新得駅までの81・7キロの区間が廃線となる見通しだ。

元々は札幌と帯広、釧路を結ぶ幹線の一部。だが、パイプ的な石勝線が開通してからはローカル線となり、さらには2016年に台風で一部区間が不通になってからは乗客が減少していた。

沿線にはテレビドラマ「北の国から」や高倉健さん主演の映画「鉄道員(ぼっぼや)」のロケ地が点在している。

高倉健さんゆかりの駅に香る花

もう列車は来なくても、駅舎を守る



富良野駅から1両編成の列車に乗車した。来年3月末で廃止見込みの根室線の富良野―新得間。富良野から各駅をたどります。「北の国から」の布部駅から「鉄道員(ぼっぼや)」の幾寅駅へ。川を越えて、トンネルを抜け、バスにも乗って進んでいきます。

車両はキハ40形。国鉄時代の車両で、座席は懐かしい青のクッション。多くの乗客は窓を開け発車を待つ。

8月上旬、道内も酷暑が続いていたが、吹き込む風が心地よい。

トウモロコシ畑などの田園地帯を進み、最初の停車駅、布部へ。

「いつまでも駅を保存して」

「北の国から」の初回、さだまさしさんが歌うテーマ曲とともに、五郎と純、蛍が東京から到着したシーンは、ここで撮影された。

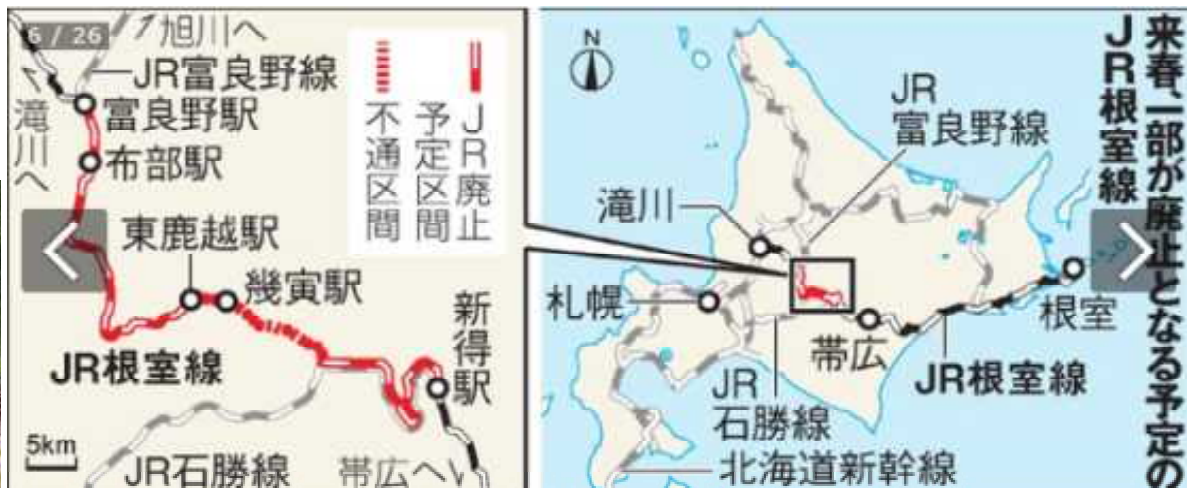
駅舎に置かれた「駅ノート」には「北の国からの大ファンです」「ドラマよみがえってきます。いつまでも布部駅保存してください」などの言葉が並ぶ。駅前には「北の国 此処(ここ)に始る」と脚本家の倉本聰さんが書いたモニUMENTが設置されている。周囲にはロケで使われた「聖地」が点在する。

夕張山地の山々を眺めながら進む。ほどなく山部駅に到着した。ここには急行列車が停車していたこともあった。

列車は空知川に沿うように下金山駅へ。駅前の丸い花壇はきれいに手入れされ、多くの花が咲いていた。

山深い金山駅を過ぎ、トンネルを抜けると視界が広がり、ダム湖のかなやま湖が見えた。7月末にはラベンダー越しに見える列車を撮影しようと、多くの鉄道ファンでにぎわった。

湖畔を走り抜けると、現在の列車の終点、東鹿越駅に到着。この先は台風被害で不通のまま。乗客は足早に代行バスに乗り換える。「鉄道員(ぼっぼや)」のロケが行われた幾寅駅。地元の人たちも撮影に協力し、そこに主演の



高倉健さんとの交流も生まれました。記事の最後には、地元の方々に当時を語って頂いた動画と、沿線を守る列車の動画があります。(2022年撮影)

代行バスが最初に到着するのは幾寅(いくとら)駅。ここでは「鉄道員(ぽっぽや)」のロケが行われた。駅舎は架空の終着駅「幌舞(ほろまい)駅」に改装され、今も当時のまま残されている。

「またお会いしましょう」

駅舎の中は、炊き出しなどでロケに協力した地元の方の「幾寅婦人会」が定期的に掃除し、花を生けている。会長の後藤治子さんは「(鉄道が廃止されても)駅はみんなが立ち寄り、ホッとできる場所であって欲しい」と話す。

駅舎内は映画の資料室となり、映画や高倉さんのファンが訪れる。後藤さんは訪れる人に笑顔で話しかけ、「またお会いしましょう」と見送っていた。

幾寅駅に近い道の駅「南ふらの」。昨年、アウトドア用品大手のモンベルの店舗が開業した。同社によると、売り場面積は道内最大級。札幌市内の店舗と遜色のない売り上げだという。週末になると、駐車場は道内各地からの車やバイクでいっぱいになる。

次の落合駅はホームにも線路にも雑草が茂り、構内への立ち入りが禁止されている。駅は16年に土砂が構内に入り込む被害を受けた。

絶景を誇る狩勝峠を代行バスで越えると新得駅に。ここで石勝線と連絡しており、駅には特急列車も停車する。

落ち葉で空転、鹿と衝突

沿線の住民団体「根室本線の災害復旧と存続を求める会」の佐野周二事務局長は「石勝線が不通になった場合、十勝地方の農産物などを根室線で代替輸送できる」と、不通区間の復旧と鉄道の存続を主張してきた。「道内を周遊する観光路線の一部としても可能性が高い」と指摘する。

佐野さんは元国鉄の運転士。廃止される区間は山深く、秋になると落ち葉で車輪が空転したこともあったという。鹿と衝突する列車も多かった。JR北海道によると22年度、同区間の1日1キロあたりの平均利用者数は、道内でも一番少ない53人。100円稼ぐのにいくらかかるかを示す営業係数は2786円だった。(嶋田達也)



◇読者からのおたより◇

巨大山女(やまめ) 今日には音威子府も東京も新潟も暑かったですね。新潟の36℃が一番でしょう。クーラーのある我われは、小西さんと違うでしょう。音威子府の明日の天気予報、一転して土砂降り、激しい天気ですね。新潟市西区は高値安定で7月下旬から雨無しです。

28日に40日ぶりに富山に釣に行ってきました。天気予報で最高32℃、最低25℃の予報なので出かけました。最低温度は予報通りでしたが、最高は34℃近くまでいったのでしよう。暑さに負けず頑張りました(さすがに3時過ぎに日陰で30分程度昼寝しました)。

30cm以上が多分7尾か8尾くらい釣れたと思います。最高は45cmくらいで、今まで一番大きなヤマメを釣りました。しかも雄で少し鼻曲がりでした。もう少し若くで、現役時代であれば剥製にしたらよかったでしょうが(今だと5万円くらいするのではないかと思います。昔は700円でしたから)。

28日は10尾以上釣れたと思いますが、1尾以外全部雄でした。原因はよく分かりませんが、最近はこうした傾向が山形でも、新潟でも、富山でも起きています。考えられるのは内水面漁協が放流する稚魚をヤマメ系でなく、サクラマス系のヤマメにしています。本州は北海道と違いサクラマスになるのは完全にメスだけです。生まれて2年目で相当数の雌ヤマメは海に下り、サクラマスになって遡ってくるのは数えるほどしかありません。

漁協がサクラマスの遊漁をやり出し、サクラマスの遡る川「格好いい」、国は環境にも配慮していると、「格好」だけつけて、根本的環境対策を少しもしていません。ダムや落差工を無頓着に作って、遡上できないようにして、かつ川を直線的護岸で固めて洩をなくし、魚を住みにくくしています。

サクラマス系でないヤマメであれば、雄雌同数なので自然産卵の機会が多くあります。サクラマス化すると川に居残るメスが圧倒的に少ないわけですから、自然産卵の機会が極めて少なくなります。ヤマメの数が少なくなっているのもこうしたこともあるのだらうと思います。

一時が万幸、やるのがこういう対応をしている社会です。釣りをしても頭に来て
います。

利潤第一の温暖化で、9月もまだ暑いようです。お互いに気を付けましょう。
添付は携帯で撮った45cmです。格好良いでしょう。(2023・8・31 小林義昭)



災害への不安 心休まず 市民の厳しい生活が続いています。そうした中、ウクライナでの止まない戦闘行為、自然災害への不安と心が休まることはありません。市内の国民健康保険加入世帯の約70%が年収200万円以下の現状。省エネ家電買い替え支援事業も3月補正、6月補正と続きますが、全ての世帯が対象となるわけではありません。暮らしの厳しさは変わりません。

今の国会情勢は与党の絶対多数、どんな法案でも可決・成立できる状況にあります。いつあるかわからない衆議院議員選挙を思えば危機感しかありません。

そうした中であっても、市民の声を聴きつつ、その声を市政に反映すべくがんばります。
(2023、穂含月 広島県福山市議 西本章)

武庫川ユニオン大会宣言 私たち武庫川ユニオンは、本日(2023年8月6日)、第36回 定期大会を 成功させることができました。

物価が急騰する中、2023春闘は、大企業において軒並み「満額回答」がされたものの、労働組合のない中小零細企業労働者や非正規労働者に対して波及効果を与えておらず、4月の実質賃金が、13か月連続のマイナスで、マイナス3.3% (前年同月比) となっている。

岸田政権は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や北朝鮮のミサイル発射実験、中国による台湾危機をあおりながら、国会で議論もしないまま国是である「専守防衛」を実質転換する「敵基地攻撃」に向けたミサイル基地を南西諸島の島々に設置し、軍事費増税や武器輸出を進めるなど、戦争が私たちの生活に忍び寄っている。

非正規率は4割ほどで高止まりする一方、正社員の賃下げが進み、「雇用によらない働かせ方」も広がっている。また、全日本建設運輸連帯労働組合関西生コン支部にかけられている戦後最大の刑事弾圧は、労働基本権である憲法28条を否定し、「闘う労働組合つぶし」であり、その影響はユニオンにも及び始めている。労働組合がこれらの問題とどのように真剣に向き合うかが問われている。

昨年9月、突然、小西副委員長を失った。組合員一人ひとりが自分で考え、行動することが求められている。武庫川ユニオンは試練に立たされている。そうした状況の中、尼崎バス分会に対して新たな懲戒処分攻撃がかけられている。また、サンゼンによる組合員排除を目的とした差別攻撃が行われている。組織化の可能性を秘めている2つの闘いに全力を挙げる。

先日結成された兵庫県立総合体育館分会は、ストライキで闘う決意をしております武庫川ユニオンの希望である。さらに、アマゾンの配達ドライバーからの相談が相次いでおり、ギグワーカーの権利を確立するため、組織化と具体的な闘いを通じて、社会に発信しなければならぬ。

武庫川ユニオンは、労働現場に足を運び、労働者の声に耳を傾け、ともに闘う労働組合として一つひとつの活動の実践を積み重ね、尼崎地域で働く労働者の希望となることを決意する。そして、300人のユニオン建設を目指し、力強く、しなやかに、明るく、激しく、楽しい運動を展開していく。以上、宣言する。